

菅平で2回大会-講習会大会 開かる

日刊
勤労千葉

81.2.3
No. 648

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(電話)二九三五、六(会衆)三三三二七二〇七

勝浦支部、堂々の二連覇に輝く

第二回(通算五回)スキー講習会・大会は、一月二十七日〜二十九日、長野県菅平スキー場において、組合員五七名という、かつてない参加人数をもって盛大に開催された。



成績

△支部対抗の部▽	
優勝	勝浦支部
準優勝	千葉転支部
第三位	新小岩支部
△個人戦▽	
大回転の部	
第一部	
優勝	高橋 富味雄(千転)
準優勝	米元 和雄(勝浦)
第三位	杉田 利男(千転)
第二部	
優勝	岩崎 喜充(新小岩)
準優勝	松本 隆博(新小岩)
第三位	高柴 康(成田)
第三部	
優勝	並木 敬治(蘇我)
準優勝	中岡 義美(津田沼)
第三位	田辺 敏(千転)

△第一日目▽講習会

一七年ぶりの豪雪により例年少ない菅平も、一八〇センチの積雪だ。一三時三〇分、吹雪の中開講式が行われ、大岩スポーツ連会長の司会で始まり、関執行委員より、「八一・三ジェット燃料貨車輸送延長阻止闘争は、すでに一〇月段階より開始され、今、焦点化しているのが銚子支部の『業務再開』強行策動であります。この間のオルグの中で臨時大会をかちとるところまでできております。そして本日『業務再開』に対する判断を組合員一人一人に求められる重大な大会が開催されています。雪上から奮闘している仲間へ声援をおくろう。」というあいさつを受け、各班ごとに講習会が行われた。

△第二日目▽講習会・支部対抗

前日と同じ班で講習会が行われた。今回は、初心者が多く自由にならないスキーに大わらわであったが二日目になると、何とかこなせるようになり、日本のダボスと言われる広大なゲレンデを自らのスキーで滑れたことに大喜びであった。一五時一五分から支部対抗回転競技が行われた。各支部から五名の選手を選出し、上位三名の成績で競われた。

白一色に包まれた高原、限りなく降り続ける雪をながめながら、一八時三〇分より支部間交流が行われた。雪上での悪戦苦闘を「お座スキー」にかけてはまかせておけばかり、「ワックス」も効き、が然ハッスル、各支部より自慢の「のど」

が披露され、特に勝浦支部の「どじょうすくい」に全員やんやの喝采。

△第三日目▽大回転競技

最終日を飾るにふさわしい好天にめぐまれ、メーソンのレースである大回転競技が行われた。A・Bにも暖かい声援がおくられ、技術の差に関係なく醍醐味を楽しんだ。一一時三〇分より閉会式が行われ、三日間の全競技の日程が無事終了した。

尚、今大会の成功に御協力頂いた、金城館、賞品を提供して頂いたフジスポーに感謝します。来シーズンも雪山で団結しよう。

